

右のQRコードでブログを見る
ことができます。HPは検索。



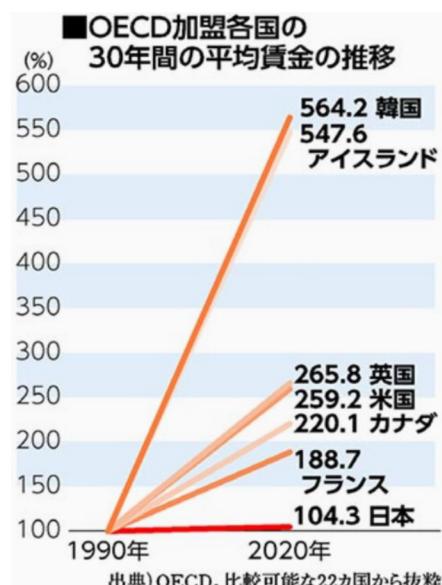
No.442 2022年2月13日(月1回発行)

marusin@mbn.nifty.com

丸山慎一 検索

賃上げ・労働条件改善の原資と経済効果	必要な原資(兆円)	内部留保に占める割合(%)	経済国内生産増(兆円)	効果GDP増(兆円)	雇用増(万人)	税収増(兆円)
22春闘要求(2.5万円)実現	19.74	2.80	32.09	16.27	166.3	2.97
働くルールの確立	15.06	2.14	24.48	12.41	592.8	2.26
不払い労働根絶	10.26	1.46	16.68	8.46	397.9	1.54
年休完全取得	4.61	0.65	7.49	3.80	187.7	0.69
週休2日制完全実施	0.19	0.03	0.31	0.16	7.1	0.03
非正規の正規化	9.60	1.36	19.66	10.28	104.5	1.87
最賃を時給1500円に引き上げ	21.01	2.98	43.04	22.50	228.7	4.10
賃金水準を1997年のピーク時まで回復	35.98	5.11	58.48	29.65	303.1	5.40

労働運動総合研究所が政府統計をもとに試算。内部留保は全企業規模。



賃雇用の正規化や最引上げなど急務

23年間で月額5万円も賃金が減少

せ、経済成長が出来ない状態が続いています。賃金が上がれば消費が上向き、生産が増えて利益が増大し、設備投資

日本経済が長期不況から脱出できない最大の要因は、賃金が上がらないところにあります。これが消費を冷え込ま

た。この20年間、大企業を中心としたリストラが行われ、非正規雇用の拡大などで賃金が抑えられた結果、2020年度末で企業には704兆円もの内部留保がため込まれていると指摘しています。

も当たり前です。

大企業の内部留保使つた賃上げで経済再生へ

「最低賃金」を時給1500円に引上げれば2万6641円。それぞれ給与が増やせると指摘(左上の表)。

活動日誌
丸山慎一

労働運動総合研究所が「春闘提言」を発表しました。この20年間、大企業を中心としたリストラが行われ、非正規雇用の拡大などで賃金が抑えられた結果、2020年度末で企業には704兆円もの内部留保がため込まれていると指摘しています。

伸世界と比べて水準も伸び率も最低

「春闘提言」では、「不払い労働」(サービス残業)を根絶すれば、月間1万2991円給与総額が増加するとしています。また「非正規雇用」

は世界最低となっています(左のグラフ)。しかも現在の日本の給与額は、いわゆる「先進7カ国」の平均より15万円も少なくなっています(2020年)。

30年間の賃金の伸びをO

ECD(経済協力開発機構)

加盟国で比べてみても、日本

も当ります。

「憲法9条を生かした外交で平和なアジアを」と呼びかけ

1月21日、

日本共産党西部地区委員会が津田沼駅で、

憲法9条を守り生かす署名に

練習始め抗議(どこ空

名)

その結果、GDP(国内総生産)も伸び悩み、2020年までの7年間でアメリカは25%伸び、ユーロ圏は14%

相手の国を壊滅させるのと同様に、敵基地攻撃能力を保有すると明言しているが、

ナバン抗議宣伝

憲法改悪を許さない全国署名

と総がかり行動実行委員会がとりくみました。正式名は「憲法改悪を許さない全国署名」で、全国市民アクション

相手の国を壊滅させるのと同様に、敵基地攻撃能力を保有すると明言しているが、

ジエンダーラ学習会/船橋革新懇

1月21日、

西船橋駅宣伝/高根台地域訪問/前原東地域で

地区常任委員会/若松地域訪問/高根台地区常任委員会

/地区常任委員会

1月21日、

平和をめぐる意見交換/根岸地域意見交換/中央支部党旗

1月20日、海老川大規模開発の現地調査/根岸地域意見交換/中央支部党旗

/高根台地区常任委員会

1月21日、

憲法宣伝/高根台地域意見交換/中央支部党旗

1月20日、根岸地域意見交換/中央支部党旗

/高根台地区常任委員会

1月21日、

憲法宣伝/高根台地域意見交換/中央支部党旗

1月20日、根岸地域意見交換/中央支部党旗

/高根台地区常任委員会

1月21日、

高根台地域意見交換/中央支部党旗

1月20日、根岸地域意見交換/中央支部党旗

/高根台地区常任委員会



憲法宣伝で訴える(右から)
恵和子・佐川長・丸山慎一・金光理
岩井友子の名
1月21日・津田沼駅北口

通りかかる人たちが足を止め、署名に名前を託していました。「もう戦争は嫌だ」という高齢の方や、「木プレイが落ちるのではないかと怖い思いをしている」などと話してくれる人も少なくありませんでした。

通りかかる人たちが足を止め、署名に名前を託していました。「もう戦争は嫌だ」という高齢の方や、「木プレイが落ちるのではないかと怖い思いをしている」などと話してくれる人も少なくあ

りませんでした。